

～円滑なコミュニケーション達成のために進化し続け、
そのための努力を継続する～



株式会社 セントラルフォーム

宮本 広樹 (みやもと ひろき) 社長

<1999年8月5日賛助会員入会>

【会社概要】

本 社:札幌市厚別区厚別東5条2丁目3-33

設 立:昭和51年[1976年]10月

資 本 金:2,000万円

従業員数:22名(令和5年[2023年]5月31日現在)

事業内容:コミュニケーションツールやサービスの提供/オンデマンド印刷、封入封緘業務/
リサイクル可能な紙製フォルダー製造

今回の会員企業トップインタビューは、株式会社セントラルフォーム 宮本 広樹 (みやもと ひろき) 社長に伺いました。同社は、企業と消費者、企業と企業をつなぐ円滑なコミュニケーションのために、様々なツールやサービスを提供しており、中でも情報システム部門は、請求書業務や販促案内のための顧客情報など大切なお客様のデータをお預かりし、適切に処理を行うことで、お客様に安心していただけるサービスとしています。また、社会との良好な関係を維持するために、情報セキュリティの保護には最善の注意を払い、その維持・改善に努めることは、企業の社会的責任との考えを柱に事業を展開しています。

Q. 貴社の創業の経緯・沿革をお聞かせください。

A. 創業の経緯としては、先代の社長(現会長)宮本 孝雄が本州資本の大手印刷会社に就職、その後、札幌勤務を命ぜられ札幌市中央区にて勤務しましたが、当時は札幌市内で規模の大きな電子計算用紙の印刷工場がなく、そのほとんどが本州にて生産されていました。そのため受注から納品までに大きなタイムラグがあり、それを是正するため当時勤務していた会社を独立、昭和51年(1976年)10月、北区新琴似に電子計算機用紙の印刷・販売を担う事務所を開設し創業に至りました。昭和53年(1978年)10月には株式会社セントラルフォームを設立し、昭和58年(1983年)10月、事業規模拡大に伴い厚別区に社屋移転し現在に至っています。

Q. 経営方針、経営者として重視していることについて伺います。お聞かせください。

A. コミュニケーションの方法が多様化していく中で、人と人との繋がりを大切に、円滑なコミュニケーション達成のために新たなことに挑戦し続けることを第一に考えています。「三方一両損」では、その一時は収まるかも知れませんが、長く続けることはできません。長く良好な関係を築くためには常に「三方一両得」になることを考え、行動することを経営理念に据え事業を展開しています。また、わたしたちセントラルフォームは札幌の小さな会社です。多くのニーズに最先端のデジタル技術で解決できる会社ではありませんが、今までに蓄積したノウハウと数多くの経験から、お客さまが欲しい情報を集める術は持っています。どんな社会になってもお客様を知り、好きになることが原点であることに変わりはありません。

その意味において、当社はこれからも変わらずお客様と正直に向き合う、そんな会社であり続けたいと思っています。

Q. 主力事業(アウトソーシング、紙フォルダー、印刷)の特徴点についてお聞かせください。

A. 弊社のアウトソーシング事業の特徴としては、フォームの企画から納品まで、今まで培ったノウハウを上手に組み合わせ、過剰投資などの不要な部分を減らすなど、品質向上などを含めた、お客様のニーズに合わせた最適の方法をご提案させていただいています。また大手企業さんにはできない小ロットにも対応できますので、お客様が今まで取られていた時間の削減につながり好評いただいています。特に請求書など月次処理を要するものなどは、社内作業コストや用紙の在庫管理コストなどのTCO削減につながります。18年前よりプライバシーマークを取得し、今期は情報システム部門にてISMSを取得するなど情報の取り扱いについては万全を期しておりますので、お客様から見ても安全・適切に情報を管理ができています。

紙フォルダーは、実用新案を取得したリサイクル可能な紙製フォルダーです。三層構造なので紙でも丈夫ですし、直接書き込みやプリンターにて使用できる製品も開発しており、想像以上に使いやすいと評判です。

印刷事業は、コンピュータ用紙をはじめとする、圧着用はがきやビジネス用事務伝票など、様々なアイテムを提供しています。どのような印刷物を作れば良いのか迷った場合は、是非ご連絡いただければ、お客様と共に課題解決に取り組んでまいります。

Q. 本年5月に5類に移行されましたが、コロナ禍の影響はいかがでしたでしょうか。

A. コロナ禍で一番影響があったのは、間接的な部分ではありませんが、ご注文をいただいている企業様の売上減などの影響により、請求書や納品書など定期的に使用されている用紙の需要が大幅に減少したことです。

一方、自粛生活をされていることが要因で、一般家庭での生活必需品などの需要が増えたことにより、副次的に増産が必要になった用紙などもありましたが、減少分の差を埋めるには至りませんでした。弊社が数年前から主軸の業態としているアウトソーシングに係る分野においては、封入封緘業務や販売促進ソールの発送業務など、特需などもあり大きく売上に寄与した部分もあります。

総じて、印刷・アウトソーシングどちらの分野においてもコロナ禍でさらにペーパーレス化が進み、紙媒体の需要が加速度的に減っていく要因になったことは間違いないと感じています。



封入封緘機(アウトソーシングで使用
する封筒に宛名台紙や封入物を入れ

作業風景

Q. 貴社の社風、社員気質などはどのように感じておられるでしょうか。

A. 弊社は先代の社長の時代から、長年勤続されている社員の割合が多く愛社精神の強い従業員が多数おります。製造業であるため、特に生産部門の社員は職人気質が強く、自分の仕事に対して責任を持って最後までしっかりとその役割を果たしてくれます。

また設立当初はコンピュータ用紙の需要が多く印刷がメインであったため、その頃の考え方がまだまだ抜けきらない部分もありますが、ここ数年アウトソーシング事業の割合が増え、旧態依然の考え方では生き残れないと考える社員も増えており、全員で今後の会社の在り方、社会での弊社立ち位置などを粘り強く考えてもらえているので、とても助けられています。

Q. 北海道は全国に先んじて少子化が進み人材確保も厳しい状況です。人材確保、人材育成方針についてお聞かせください。

A. 弊社の事業内容は社会的に見ると、今のままでは決して大幅な伸びしろがある業種ではありません。しかし、事業を継続していくためには若い人材が必要であり、その若い人材の考えなどを吸収しつつペーパーレス化・IT化に対応すべく今後求められるコミュニケーションツールを的確にとらえ柔軟に対応していきたいと考えています。そのためにも、各種休暇の拡充などの労働条件や初任給などを更に改善し働きやすい環境を整え、若い方が会社に求める条件などを吟味し環境の良い職場づくりを目指しています。人材育成については、会社の一員としての教育だけでなく、社会の一員として必要な考え方なども育成方針のなかに取り入れ、社外研修などに若手はもちろんのこと、中堅社員も含めて会社全体としての人材育成方針を考えていきたいと思っております。

Q. 働き方改革や女性の活躍に関する取り組みは如何でしょうか

A. 働き方改革ですが、労働時間については、納期切迫などの影響により多少は残業する場合がありますが、概ね週 40 時間内に収めており 1 カ月 45 時間を超えることはまずありません。また年次有給休暇の取得日数も各部門、部署で管理を徹底し取得時期を指定するなどの措置を行い、取得率向上に努めています。弊社は製造業であるため、在宅勤務については導入が難しい側面があります。

今後はフレックスタイム制の導入なども視野にいれた就業規則の見直しについて検討していきたいと考えています。また、性別による待遇の差別はありませんが、生産部などどうしても力仕事が必要な部門への配慮が不足していると感じており、是正の余地はまだあると思っています。引き続き、弊社でできる限りの働き方改革への対応を進めたいと考えています。

Q. 貴社の課題、今後の取り組み・方向性についてお聞かせください。

A. 先述した部分と重なる部分もありますが、大きな課題としては、加速度的に進むペーパーレス化・IT化への対応です。今までは紙媒体に大きく依存していたものが、個人へのメールでの通知や案内にとって代わり、重要な通知でも紙媒体である必要が無くなっています。しかし、現在弊社の設備やノウハウではそれらに対応しきれない部分が多くあります。そのギャップを埋めるための必要な投資を含め、何が求められているかを的確に判断していく必要があると考えています。

今後の方向性としては、情報処理の分野に力をいれたいと考えており、そのために必要なノウハウを取り入れるなど、その努力を継続したいと思います。また、新たな商品開発にも注力し地元企業として地域社会に貢献していきます。

Q. 社長に就任して約 10 カ月が経ちますが、特に印象に残る仕事・事柄をお聞かせください。

A. 現在は引継ぎなどを含め、経営に係る必要な知識、業務を覚え吸収するために日々邁進しているところですが、特に感じるのは、社会全体の物事の移り変わりの早さです。ペーパーレス化をはじめ時代を先取りしていくとの思いを強く持ち、失敗を恐れず新たなことに挑戦し続けたいと思います。また、様々な様態に変化していくコミュニケーション手段を的確に捉え、時代のニーズに即した企業として持続的発展を目指してまいります。



社屋外観